

【地域活動ノート】

城西大学ローターアクトクラブの取り組み*

——西坂戸を中心とした活動の報告——

田口幸多**

活動の概要

城西大学ローターアクトクラブ（以下、城西大学RAC）は、坂戸ロータリークラブの支援のもと、城西大学の公認サークルとして埼玉県坂戸市を拠点とした地域活動を行っている。主に、子ども食堂における交流企画やハロウィン・クリスマスイベントといった季節イベント、他のクラブとの交流といった活動を行っており、クラブのメンバーで協働しながら少しずつ活動の幅を広げている。こうした地域に向けた活動を通して、郷土愛を育むと共に、学生主体で組織・運営・計画・課題解決などを行い課題解決能力や社会人基礎力を育んできた。

キーワード：ローターアクトクラブ、西坂戸、子ども食堂、地域交流、ボランティア

1. 子ども食堂「おこちゃマイル」への参加

城西大学に隣接する埼玉県坂戸市西坂戸地区に、「おこちゃマイル」という子ども食堂がある。「おこちゃマイル」は、子どもの居場所づくりを目的として毎月第4土曜日に運営されており、我々城西大学RACの学生は、食事を終えた子どもたちとの交流企画を実施している。企画の内容は、「子どもたちの興味・関心を引き出し、楽しんでもらえる」ということを意識して月替わりで考えており、企画の準備や当日の運営、宣伝のためのポスターづくりなどを行っている。以下では、2022年度に実施してきた企画の中からいくつか紹介しようと思う。

○美術系の企画（マーブリング、ぼんぼん版画）

水面にインクを垂らし、その水面に浮かんだ模様を紙に写し取る「マーブリング」でうちわやしおりを作ったり、紙の半分を切りとって上からぼんぼん絵の具をつける「ぼんぼん版画」を実施したりした。



○化学系の企画（クロマトグラフィー、スライム作り、スーパーボール作り）

紙にインクを付けたあとに水につけてインクを色素分離させる「クロマトグラフィー」や、スライム作り、スーパーボール作りを実施した。



* 本稿の執筆にあたって、城西大学ローターアクトクラブ顧問の庭田文近先生（現代政策学部教授）にご指導をいただいた。

** 城西大学ローターアクトクラブ会長、城西大学理学部数学科3年生

○財務省関東財務局と連携した財政教育プログラム

関東財務局の方々を招いて、子どもたちへ向けた税金の講座や決められた予算内で公園を作るというアクティビティを実施した。税金について楽しみながら学びつつ、子どもらしい自由な発想で公園を作り、とても有意義な時間となった。



2. 季節のイベント

1で紹介した子ども食堂の企画の延長として、10月にハロウィンイベント、12月にクリスマスイベントを実施した。

ハロウィンイベントでは、西坂戸商店街に活動の規模を広げて、城西大学RACの学生が仮装をして散らばり、スタンプラリーを実施したり、城西大学経営学部の石井ゼミにご協力をいただき、ヒーローショーの公演をしたりした。今年度で2年目の開催となるハロウィンイベントであったが、昨年度よりも多い約200名の来場者が集まり、おおいに盛り上がった。子どもたちも、友達と回って楽しみながら、順番を守ることや道路への飛び出し注意など、様々なマナーを学ぶ機会にもなった。



クリスマスイベントでは、事前に用意してお菓子などの食材を使ったパフェ作りや、たくさんの景品を用意したビンゴ大会を実施した。子どもたちそれぞれ、素敵なパフェを完成させたり、ビンゴでもたくさんの子供たちが参加して盛り上がったりと、とても楽しいイベントとなった。



3. 他のクラブとの交流

ローターアクトクラブは城西大学以外にもあり、今年度はそのような他のクラブとの交流活動も活発に行っていた。他クラブと交流していきながら、新しい仲間を増やしたり、どのような活動を行っているのかを聞いたりして、自分たちの活動の参考にできるような様々な経験をすることができた。特に、千葉科学大学ローターアクトクラブとは、同じ大学基盤のクラブとして親交を深めている。また、現在、埼玉西北地区の代表として、4月に開催予定の関東地区のローターアクトの会員などが集まるイベントの会議にも出席しており、より一層交流を深めていけるようにしていきたいと考えている。

4. 最後に

ここまで、2022年度の城西大学RACの取り組みを紹介してきたが、これらは西坂戸地区の活動が中心となっている。今後は、現在の活動をベースとしつつ、より多方面に活動の幅を広げていき、より活発な活動となるよう次世代へと繋げていきたい。そして、学生にとっても、地域にとっても大切な経験となるような活動を続けていきたい。